

養護概説	3年・後期	2単位 30時間	教授 佐光恵子
科目カテゴリー	養護に関する科目	科目ナンバリング	36011173

1. 授業のねらい・概要

学生は、養護教諭の職能に関する学問的体系を学び、今養護教諭に求められている専門性と保健室の機能を生かした職務を実践できる能力を養う。特に、養護教諭の新たな役割を果たす資質や能力、実践力を身につけていくための基礎的知識を習得する。

2. 学修の到達目標

1. 関連法規に基づき、養護教諭の職務を理解し述べるができる。(D-2)
2. 養護教諭に求められる専門性、資質や能力等を理解し、基礎的基本的実践力について述べるができる。(D-2)
3. 学校全体の保健管理、児童生徒への保健指導の方法を理解し実践することができる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、視聴覚教材、グループワークを取り入れ、実践的能力を養うため学生の主体的な取り組みを期待する。

【アクティブ・ラーニングの実施の有無】

グループワーク等を用いる。

【ICT活用の実施の有無】

ICTは活用しない。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	養護教諭の職務の本質と概念	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光恵子
2	養護教諭制度の沿革と職務内容の変遷	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
3	養護教諭に必要な能力 ①求められる能力	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
4	養護教諭に必要な能力 ②新たな役割の法的根拠	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
5	教育に果たす養護教諭の役割 ①健康教育と学校保健	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
6	教育に果たす養護教諭の役割 ②健康教育とヘルスプロモーション	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
7	養護教諭の職務の実際 ①学校保健計画	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光

8	養護教諭の職務の実際 ②保健室の機能と運営	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
9	養護教諭の職務の実際 ③健康診断と健康相談	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
10	養護教諭の職務の実際 ④学校環境衛生活動	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
11	養護教諭の職務の実際 ⑤保健教育活動	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
12	養護教諭の職務の実際 ⑥救急処置活動	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
13	養護教諭の活動の評価 と研究	講義	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
14	課題発表とまとめ ①	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光
15	課題発表とまとめ ②	演習	予習：テキスト(2部)の該当箇所を読み、わからない言葉を調べる。 復習：配布資料の精査とまとめ、課題学習	佐光

5. 成績評価の方法・基準

定期試験(受験資格は3分の2以上の出席した者)60%, 課題レポート20%, 提出物20%で、総合的に評価する。

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価とする。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲、出題方法等は、事前に口頭で指示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：采女智津江他著 新養護概説第13版 (CD-ROM付) 少年写真新聞社者2024

学校保健・安全実務研究会編著 新訂版学校保健実務必携(第5次改訂版) 第一法規2020

参考文献：適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

参考文献を初め、本学図書館に所蔵の本科目関連書籍について、予習復習をそれぞれ90分程度行うこと。

8. 受講上の留意事項

2年次の教職関連の規定科目の単位を取得していること。

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は、参加態度として評価対象とするので注意すること。

日常的に新聞雑誌・テレビ・書物等々を通して教育問題に関心を持つこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認して返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職の必修科目であり，修得できない場合は免許状不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

群馬県下の公立学校の養護教諭，及び群馬県教育委員会指導主事の実務経験を活かして，講義等を行う。